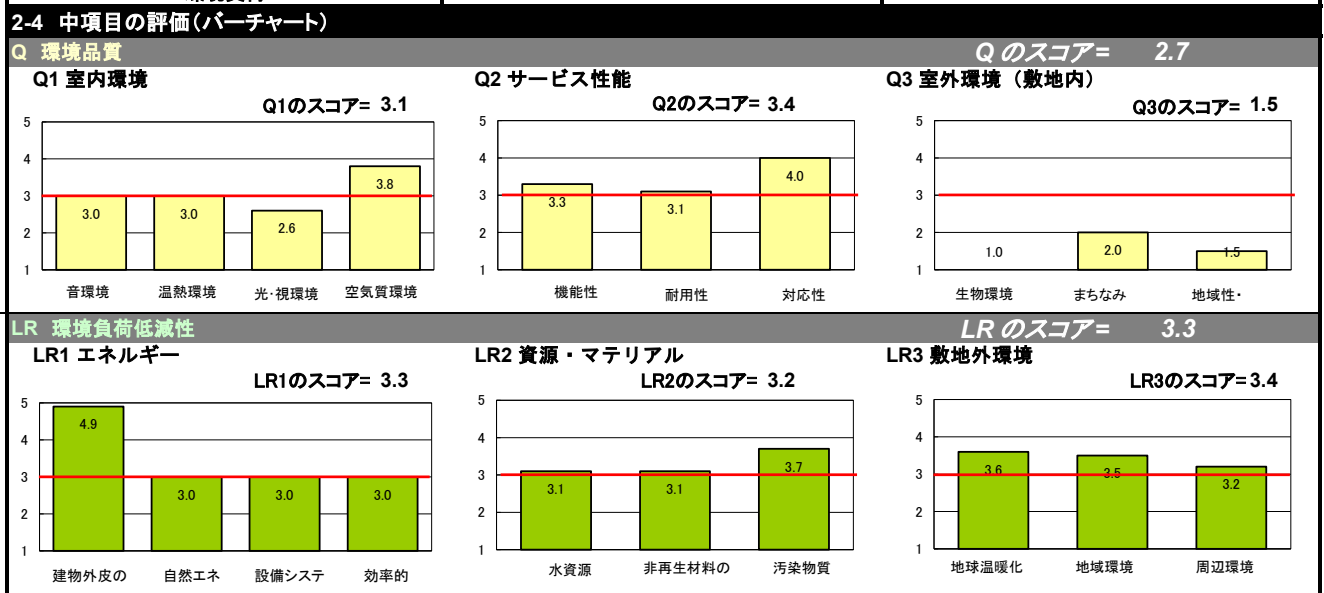
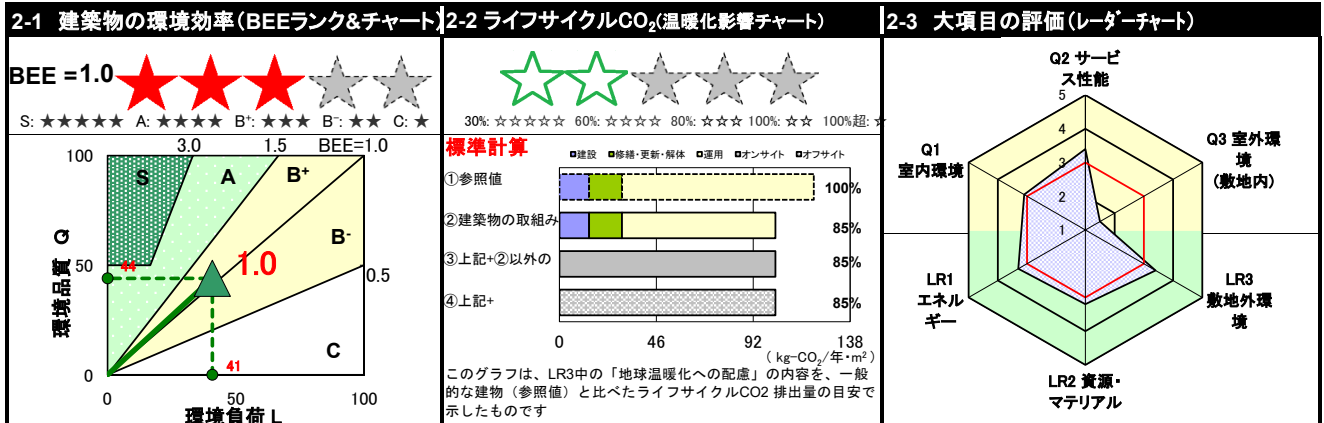


CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)博多駅東3丁目プロジェクト 新築工事	階数	地上9F
建設地	福岡県福岡市博多区博多駅東三丁目128番、129番、130番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	500 人
地域区分	7地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、飲食店、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年4月 予定	評価の実施日	2024年10月7日
敷地面積	1,224 m ²	作成者	岡本 優也
建築面積	737 m ²	確認日	2024年10月11日
延床面積	6,003 m ²	確認者	岡本 優也



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
町並みの景観を考慮し、建物を可能な限り整形とし、周囲に調和した建物構成を目指しました。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
空調を行う室のガラスはLOW-eガラスとし、熱負荷を抑え、内装材に化学汚染物質を使用せず、室内環境の向上を図りました。	バリアフリーな建物としました。 また、外部に露出する鉄骨部には溶融亜鉛メッキとし、防錆対策を行いました。	・周辺環境を阻害することが無いよう、外壁の色は無彩色を基調とした外観イメージとします。 ・室外機等、外部から見えないように配慮しています。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・長寿命なLED照明の採用により省エネルギー化を図りました。 ・空調エリアは断熱材の施工による外皮性能の向上を図りました。	・節水対応型便器を採用しました。 ・現場施工時の廃棄材料が少なくなるように、天井や壁に使用するプラスターボードやケイカル板など極力、定尺材が利用できる寸法となるような施工を心がけます。	・施設全体の省エネ化によるライフサイクルCO ₂ 排出率の低減を図ります。 ・無彩色を基調とした外観による、街並みにへの配慮しました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される